

3/13 (水) 手を取り合って子育て支援 わいわい発表会開催

子育て中の保護者を支援するため、未就学児とその保護者を対象にした手作りの発表会「わいわい発表会」がゆうゆう館において行われました。

ゆうゆう館エントランスホールの特設ステージでは、更生保護女性会やおはなしの会「しらゆきひめ」、子育て個人ボランティア「こころちゃんの会」などによる、季節の歌やヘビが踊る人形劇、紙皿を使用したペープサート（紙人形劇）などの発表が行われ、訪れた親子連れを楽しませました。

更生保護女性会は、更生支援活動や子育て支援活動をおはなしの会「しらゆきひめ」は、図書館や幼稚園、小中学校などで読み聞かせや人形劇を、子育て個人ボランティア「こころちゃんの会」は、長岡幼稚園での読み聞かせや図書館事業への参画活動を日頃から実施しています。



3/3 (日) 第79回霞ヶ浦・北浦地域 清掃大作戦

3月3日（日）、霞ヶ浦問題協議会主催による「霞ヶ浦・北浦地域清掃大作戦」が行われました。

この事業は、霞ヶ浦の環境保全に対する意識高揚を図ることを目的として、流域住民による一斉清掃を行うものです。

茨城県においては、流入地域となる生井沢憲生区、生井沢協栄区、上雨ヶ谷区、下雨ヶ谷区、下座区の皆さんのご協力により、河川敷や道路側溝等のごみ拾いが行われました。休日にもかかわらず朝早くから多くの参加者があり、地域一体となって環境美化に向け意欲的に作業が行われていました。

(※ 上雨ヶ谷区においては、1月27日にごみ拾いを実施しました。)



3/1 (金) 茨城県不法投棄監視員による一斉清掃

茨城県産業廃棄物不法投棄監視員による一斉清掃が行われました。春一番が吹き荒れる中、ごみのポイ捨てが絶えない茨城中央工業団地内町道沿いの清掃を行い、合計 350kg のごみを回収しました。

監視員の方々には、随時担当地区のパトロールを行うなど、不法投棄の監視にご協力をいただいております。町民の皆様につきましても、不法投棄に監視の目を向けていただき、不法投棄を発見した場合はみどり環境課（☎240-7135）までご連絡ください。



4/1 (月) 茨城県副町長 柴 義則氏 就任



前副町長の矢口和博氏が退任されたことに伴い、茨城県から柴義則氏（48歳）が派遣され、4月1日付で副町長に就任しました。

柴副町長は就任の挨拶で、「『安全・安心で活力あるまち いばらき』実現に向け、町民の皆さまのご期待に沿うべく誠心誠意努力いたします。」と、意気込みを語りました。

3/12 (火) 思い出と新たな希望とともに 各小中学校で卒業式

3月12日と19日、町内の各小中学校で卒業式が行われ、小学校 265人、中学校 296人の卒業生が、在校生に見送られながら慣れ親しんだ学び舎を巣だてていきました。

19日に石崎小学校で行われた卒業式では、「先生、先輩からたくさんのお話を吸収し、大きくなってください。」と式辞を述べた坂場校長先生より、卒業生一人ひとりに卒業証書が手渡されました。

卒業生たちは、運動会や遠足など、6年間の思い出を振り返りながら、先生や保護者への感謝の気持ちを述べ、在校生も「一緒に遊んでくれてありがとう、石崎小の伝統は、私たちが引き継ぎます。」と応えました。



3/4 (月) 災害時協定締結 災害時における水質や土壌などの検査体制の強化

茨城県は一般財団法人茨城県薬剤師会検査センター（※）と、「災害時等の公衆衛生及び環境保全に係る検査に関する協定」を締結しました。

4日に行われた締結式では、小林町長と同検査センターの横濱明理事長が協定書に署名しました。協定の締結にあたって小林町長は、「震災以降、様々な業種、業界と災害に備えた協定を結んできた。さらにこの度、この協定を締結することで、非常に心強く感じています。災害に対し、万全の体制をもって町民生活の安全・安心を守りたい。」と述べ、横濱理事長も「協定の締結により、地域の安全な暮らしに貢献できる。茨城県に対し、検査機関として協力していきます。」と応えました。

協定に基づき、災害時等に同センターに要請できる事項は以下のとおりです。

- ①水道、井戸、受水槽等の水質検査
- ②土壌検査
- ③食品中の異物・微生物検査
- ④水、食品、土壌などの放射能検査
- ⑤その他必要な事項

※旧名 財団法人茨城県薬剤師会公衆衛生検査センター（4月1日移行）

